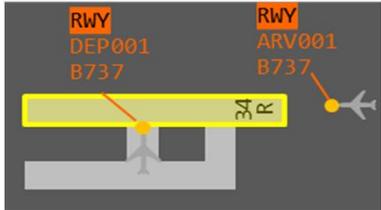


- 主要空港※において、滑走路占有監視支援機能(滑走路誤進入に係る管制官に対する注意喚起システム)を強化中。
- 第1ステップとして、令和6年10月31日より注意喚起音を追加済み。
- 第2ステップとして、令和7年度中を目途に、更に切迫した状況で発動する警報表示・警報音を追加予定。令和6年10月より、システム改修関連作業に着手。

令和6年10月30日以前

注意喚起表示のみ

注意喚起表示



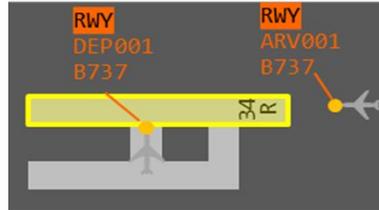
 滑走路の状況を確認！

- ※平成22年度以降、成田、羽田、中部、大阪、関西、福岡、那覇空港で順次導入
- ※令和6年1月より、緊急対策として常時レーダー監視要員を配置

第1ステップ(令和6年10月31日~)

注意喚起音を追加

注意喚起表示



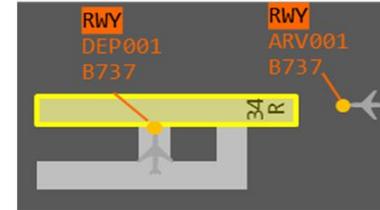
注意喚起音

 滑走路の状況を確認！

- ※注意喚起音の追加に合わせて、常時レーダー監視要員の配置を解除
- ※業務処理要領を改正し周知徹底

第2ステップ(令和7年度中目途)

注意喚起表示

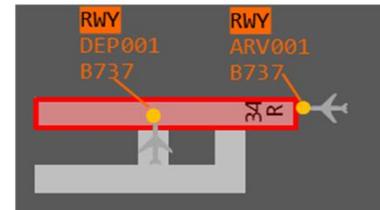


注意喚起音

 滑走路の状況を確認！

<更に切迫した状況> 警報表示・警報音を追加

警報表示



警報音

 Go around(着陸復行)！

- ※位置情報精度及び管制運用への影響を考慮の上、空港毎に滑走路誤進入の検知範囲を調整
- ※管制業務への影響等を踏まえた音種、管制塔内の環境音等とのバランスを踏まえた音量を設定
- ※新千歳空港については、防衛省において独自のシステム・体制を整備済み

- 令和6年度補正予算(約14.5億円)